

ジョン・キーツ

5 ああ あの日丘の向こうで出会ったものが

ああ あの日丘の向こうで出会ったものが  
あなたにわかるでしょうか  
灰色の岩場を降り  
いくつもの苔むす泉を抜けたところで  
ああ 金髪のマリア様 5  
どうぞ思ってもみてください  
そこで何に出会ったか  
とても口には出せません  
私が激しい流れにかかる  
岩橋に立っていると 10  
霧のかかる峰に  
馬に乗る一団が見えました  
谷間を駆け降りる彼らに会おうと  
私も急いでゆきました  
知っている顔があれば 15  
引き止めて挨拶しようと  
最初は毛の滑らかな雌馬に乗ったウィリーが  
気取った早駆けでゆきました  
ウィリーの長い髪はたなびいて  
小舟に掲げた松明のようでした 20  
次に続くのは弟ラブ それから  
花嫁ペギーの母親と  
ペギー自身も続きます 皆そろって  
谷を降りてゆきました  
ペギーは雨風をさけようと  
頭巾を被っていました 25  
胸の高まりに  
頬がほんのり染まりました  
ペギーは夢見心地で 幾度となく振り向きまして  
というのは自分の兄たちが 30  
優しい花婿と大勢の者を引き連れて

駆けていたからです  
若いタムは頬を赤らめて  
ちらりと私に目を向けました  
着飾るタムは子供のように小突かれて 35  
話しかけてもくれません  
ああマリア様 吹き荒れる風の中  
皆は家に帰ってゆきました  
皆の心には炎が宿り  
軽い羽のようでした 40  
ああマリア様 幸せな婚礼の宴から  
皆は家に帰ってゆきました  
でも私は ああ何て不幸なこと  
悲しみの涙を流しているのです

(鎌田明子訳)